

受講歴6年以上 山崎 晃治さん（第一ゼミナール富田林校出身）

速読トレーニングは楽しみながら続けることが大切です。速読の力は、受験はもちろん大人になっても活用できます！本も自然と読むようになると思いますよ。



読書速度が伸びないときもあった



小学6年生から始め、楽しく受講していた速読ですが、中学2年生の頃に読書速度が1,000文字/分から向上しない時期がありました。

ただ、他のトレーニングでは自己ベストを更新できていたこともあり、そういった部分が受講の楽しみとして残っていたので、気持ちの面でもやる気を保つことができました。

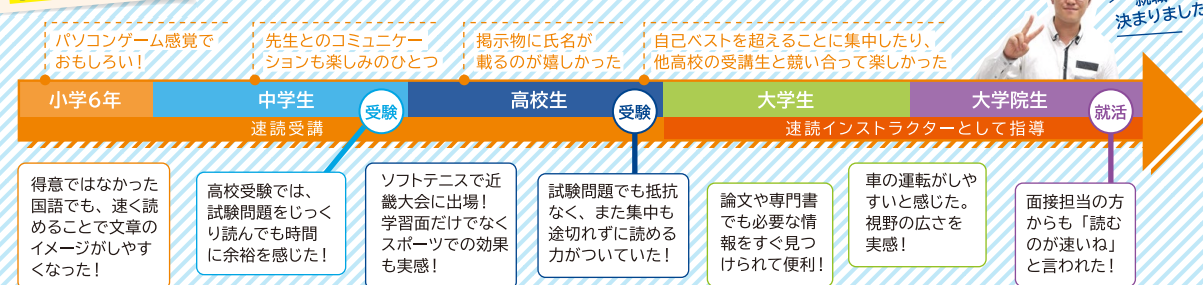
読書量の増えた大学生活

電車通学になったことがきっかけで積極的に本を読むようになりました。往復約2時間半の通学時間で、薄い文庫本なら1日で読みきってしまうことも。大学院に進むと、論文や分厚い専門書を読む機会がさらに増えましたが、そんな中でも必要な情報がどこに書いてあるかをすぐに見つけられ、速読がとても役に立ちました。

就職活動でも役立った

エントリーと同時に受ける学力テストが、速読のトレーニングの形式と非常に似ていました。時間的にも厳しく全問解ききれない人もいる中で、落ち着いて全問正解でき無事面接のステップへ。面接担当の方からも「読むのが速いね」と言われたりしました。

速読ロードマップ



受講生インタビュー



中学2年生
加藤 花菜さん 受講歴6年

テストで見直し時間も確保できるようになった

テストのときに問題を読むのが遅かったのがずっと悩みでしたが、1年くらいトレーニングを続けていた頃に見直しの時間がとれるようになってきました。本を読んでいると、友達から「なんでそんなに読むの速いの?」と言われるようになりました。速読甲子園の団体戦では、教室のみんなでがんばるというのが意欲になってます。



中学3年生
瀧澤 祐介さん 受講歴4年

効果をテニスでも実感
大学受験に役立てたい!

テニスをやっているんですけど、速読を始めてから相手がボールを打つ瞬間を見て、予測ができるようになった実感があります。目標は大学受験です。科目を問わずたくさんの文章を正確に読む必要があるけど時間が足りないときよく聞くと、速読で少しでもライバルに差をつけたいです。

※学年は取材当時のものです

一分の計測で、一生が変わる!?



読書速度ハカルくん

「読書速度ハカルくん」は、あなたの読書速度を測ることのできる無料ツールです。

あなたの読書速度はズバリ、何級?!

さっそく読書速度を測ってみる!



予習復習・定期テスト・受験に役立つ

チカラになる
速読トレーニング

中1~中3生は要チェック

大学入試が変わる!
どんな対策が必要?

現中学生が大学受験をする2020年度以降は、現在の大学入試センター試験を廃止し、新たな試験制度「大学入学共通テスト」が開始されます。新たな内容では、これまで以上に思考力・判断力・表現力が求められます。

特に、国語・数学では記述問題が出題されることが発表されています。複数の情報を統合し構造

化して考えをまとめる、相手が正確に理解できるよう根拠に基づいて論述する力などが評価されます。これからは、知識だけではなく変化を見据えた入試対策が必要となります。

- 長文を読解するチカラを鍛える
- 記述問題に要する時間を確保
- 自分の考えや意見を書く表現力を養う

速読トレーニングで、必要なチカラを鍛えましょう!

大学入試改革スケジュール

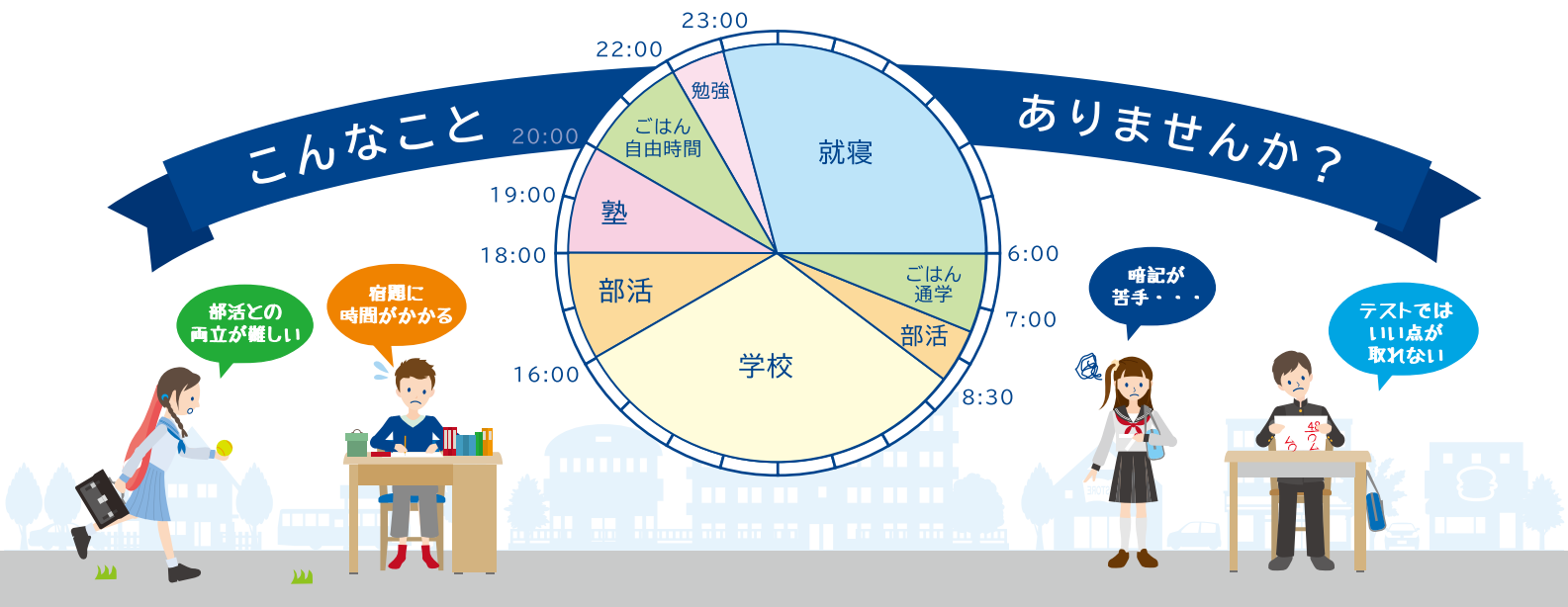
年度	実施内容
2017年度	プレテスト(5万人)実施
2018年度	プレテスト(10万人)実施
2019年度	実施内容の策定・公表 確認プレテストの実施
2020年度	実施 2002年度生まれ さらに改革!
2021年度	次期学習指導要領に 対応内容を予告
2024年度	次期学習指導要領で実施

忙しい中学生に

みんなの速読

時間をつくる勉強法

「速読」は速く読むだけでなく、読解に必要な5つのチカラをバランスよく鍛え、処理速度をアップさせます。
勉強やテスト、部活で忙しい中学生は時間の使い方を考えることが重要です。



普段の学習

長文を読解するチカラを鍛える！学習量も増やせる！

読むスピードが速くなると、同じ勉強時間でも、学習量や学習の質が変わっていきます。たとえば、読んで解くチカラ=処理速度を3倍にすることができれば、同じ時間で予習や、学習の定着に必要な復習(反復学習)もすることができます。

また、どの教科学習においても、問われる内容を理解し正しい答えを導くことが求められます。速読では、学力の土台となる読解基礎力を鍛えます。



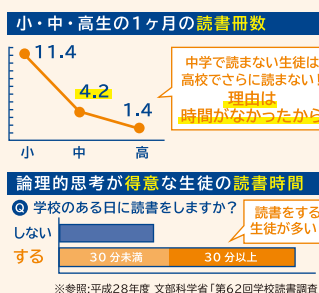
読書を通じて自分の意見を書く「表現力」や「思考力」を養う

読むこと自体に苦手意識がある場合、読書から学ぶ語彙や表現、情緒を得る機会が少なくなってしまう。文部科学省の発表でも、「学力差の大きな背景に語彙の量と質の違いがある」とされており、語彙力を伸ばすための指導が勧められています。

小学生の頃には進んで読書をしていても、中学に入り勉強や試験・部活で忙しくなると、それまでのように読書に費やす時間の確保が難しくなりがちです。しかしある調査では、中学生までの読書量が少ない

と、高校進学後さらに読書をしなくなる割合が高まったり、本が好きでないという回答結果が出ています。語彙の量と質が学力差へ影響することを踏まえれば、中学生までの読書量がその後の語彙力、しいては学力差へ影響するといっても過言ではありません。

速読トレーニングで多くの文章に触れ、読むコツを知り、スピードアップすることができれば、決められた読書時間でも「読む」経験を増やすことができます。



※参照:平成28年度 文部科学省「第62回学校読書調査」

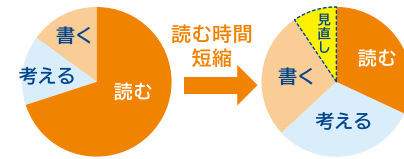
合格

テスト・受験

記述問題を解く時間を確保

2017年のセンター入試文字数は約25,110文字。なんと原稿用紙63枚分でした。2020年以降の大学入試改革を見据え、高校入試でもグラフや資料を読み解き、自分の意見を書く問題が増えている傾向があります。

入試や定期テストでは、「考える時間」や「書く時間」、さらに「見直しの時間」を多くとりたいたもの。「読む時間」を短くすることができれば、それらの「解く時間」を多く確保でき、精神的にも落ち着くことができるので、合格率アップにつながります。



高校受験(国語) 例8,500文字の場合

読書速度 500文字/分	試験時間 60分	読書速度 1500文字/分	試験時間 60分
読む 34分	解く < 26分	読む 11分	解く < 36分
	不足 10分	見直し 13分	

※読む時間は読み直しや答えの検索などを考慮し、文字数を2倍で計算しています。※解く時間は約6割必要と言われています。

部活・スポーツ

スポーツに有効な見るチカラとは？

スポーツビジョン研究の第一人者 石垣尚男教授に聞きました!

動くものをはっきり見る動体視力、瞬間的にバツと見る瞬間視、広い範囲を見る周辺視野などを総称してスポーツビジョンといいます。わかりやすい言葉では「見るチカラ」です。スポーツで良い視力は必要ですが、もっと重要なものが「スポーツビジョン」です。速読トレーニングを続けることで野球なら投手のボールがはっきり見え、サッカーなら空いたスペースがバツとわかるようになります。スポーツビジョンがアップするとスポーツもうまくなります。



成果確認

成果チェック&速解力検定

普段の文章を読む速さ「読書速度」や文章を読み問題に正しく解答する速さ「処理速度」の成果をチェック。さらに、年に2回の検定では、読書速度とそれに伴う理解度(読解速度)をテスト。段・級認定され個人成績表と認定証が発行されます。

認定証も発行



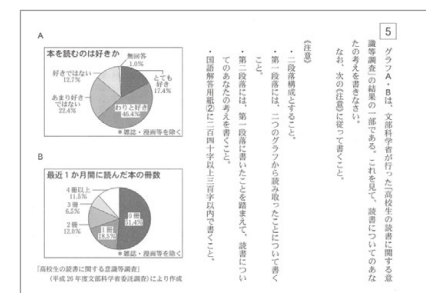
ランキング
全国2万人の受講生と競い合える

スキルチャート

学習に不可欠な5つの読解基礎力をスキルチャートで表示。伸びや不足している力を確認しながらバランスよく鍛えていきます。

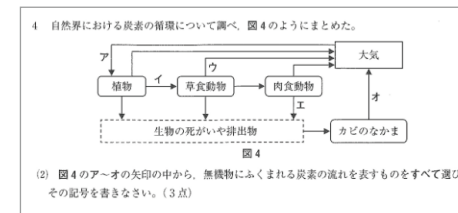
全体把握力 思考力
理解力 記憶力 検索力

近年の高校入試



▲2017年 栃木県国語

近年、グラフや資料を読み取り、その内容をもとに自分の意見を書く問題が増えています。



▲2016年 埼玉県理科

記号選択問題での「すべて選ぶ」問題が大幅に増加。これまで以上に知識の正確性を問われ、解答時間もかかります。



トレーニング

脳科学に基づいたトレーニング

トレーニングでは「読む速度」だけでなく、テストに役立つ「読んで解く」速度のアップを目指します。内容理解のともなった、総合的な速読力を身につけましょう!



約40種類の豊富なトレーニング